

# 宮田守男 フィールド風 (現場)からの

10月初旬、旅で訪れた和歌山県高野町。朝、児童の通学時に交差点で誘導する人と話す機会があった。小学校の校長だと聞き「先頭になって児童の安全に取り組んでいるのですね」と話す

と、「今年の小学校の全児童数は82人」と寂しそうに話しながら、「交差点の反対は、町長さん。町長自ら取り組んでいるので」と目を輝かす。

平成27年6月末の人口は、3348人。昭和40年頃から人口減少が続き、平成22年から657人も減少するなど歯止めがきかない状態が続いている。町長は、48歳の平野嘉也さん。昨年の選挙で、観光振興を掲げた現職を破った薬剤師だ。選挙戦では、医療環境の整備などを訴えた。地元

の何人かに、町長の評判を聞くと、観光振興には厳しい意見が聞かれた。実際、各史跡を訪ねると対応するスタッフの態度が気になる所が多かった。インターネットの情報で、高野山音声ガイド機を貸し出しているとの情報。事前予約の

## 観光振興の取り組みが、訪れた人に気づかれる現場がある事を考えてみませんか

り、返却してもらえないかったり」対応できない歯がゆさが伝わってくる。1日目に歩んだコースを、ガイド付きで訪ねると、全く違う感動に出合える。同じ場所を、音声ガイドの無い場合、音声ガイド

も対応していた。訪れた時でも大勢の外国人。より日本を理解してもらうためにも、音声ガイドの充実を願ってしまふ。

今回は、宿坊に泊まる。善光寺や成田山の宿坊利用は体験していたが、高野山の宿坊は、全く異なるものだった。施設は近代的で、上質さを

ため貸出案内所に連絡すると当日予約のみですとの返事。翌日8時半から貸出する、この情報で案内所に行き、2台借りる事ができる。スタッフに、「全部で何台あるのですか」と、聞くと「現在は、20台ほど。壊れた

付きの場合、音声ガイドなしで、燈明の明かりを頼っての場合。奥の院の場所だけでも、一回4時の行程だったが、それぞれの体験が素晴らしかったことも事実だった。

音声ガイドは、英語・フランス語・中国語に

事。地域内の60を超え (NPO法人信州地域る寺院の存続には、な 社会フォーラム理事・くはならない宿坊経 白馬村森上) 営なのだろう。



精進料理、体をいたわる味が旅をより一層楽しいものにしてくれる